

## FRFU ラグビー再開に向けた考え方

### 【通達等の現状】

国(スポーツ庁):「5月14日に決定された『新型コロナウイルス等緊急事態宣言』における緊急事態措置を実施すべき区域の変更について、及びスポーツ庁ホームページにおけるスポーツ関係団体等のガイドラインの掲載(予定)につて」

(令和2年5月14日/事務連絡)

日本スポーツ協会:①「『スポーツイベントの再開に向けた感染拡大に向けた感染拡大予防ガイドライン』について(通知)」(令和2年5月14日/第2回JSPO総務発第19号)

②「スポーツイベント再開に向けた感染拡大予防ガイドラインの改訂について」

(令和2年5月29日)

福岡県:5月14日発表(緊急事態宣言の解除に伴う皆さまへのお願い)

5月29日発表(緊急事態宣言の解除後の福岡県の対応/6月1日以降の対応について)

福岡県スポーツ協会:独自見解なし(日本スポーツ協会見解に準ずる)

WR:ガイドライン「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に伴う、ラグビー活動の安全な再開について」(2020年4月27日)

JRFU:①「新型コロナウイルス(Covid19)ラグビーの再開に関するワールドラグビーのガイドラインについて」(2020年5月9日/日ラグ協発20-017)

②「高校生以下対象の7~8月の大会の延期・中止にお判断について(通達)」

(2020年5月15日/日ラグ協発20-19)

③「各種講習会の実施自粛に関するお知らせ」

(2020年5月15日/日ラグ協発20-20)

④【「太陽生命カップ2020第11回全国中学生ラグビー大会」大会開催について】

(2020年5月15日/専務理事通知)

⑤2020年度JRFU B級/A級/S級コーチ講習会の中止のお知らせ

(2020年5月15日/普及育成委員会コーチ部門長通知)

⑥JSPO「スポーツイベント再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」(通達)

(2020年5月20日/日ラグ協発20-24)

⑦「ラグビー競技の再開に向けて」(2020年5月31日/日ラグ協発20-26)

・ラグビートレーニング再開のガイドライン(2020年5月31日)

・日本協会主催大会プログラム(2020年5月31日)

KRFU:独自見解なし(JRFU見解に準ずる)

### 【考え方】

- ・再開に当たっては、「トレーニング」、「トレーニングマッチ」、「大会等」を区分して再開を進める。
- ・トレーニング再開の判断基準は、「県＞市町村＞教育委員会(学校)」の判断を最優先し、それを超えて先行実施はできないこととする。(すべてのカテゴリーのチームに該当)
- ・ガイドラインは、「スポーツ庁のガイドライン」、「WRのガイドライン」に配慮しながら、「JRFUのガイドライン」を基本とする。
- ・ラグビー再開に当たり、WRのガイダンス「運営スタッフのための情報:活動再開の管理方法」を、チームスタッフ、協会関係者は熟読し、共通認識のもとで、再開に当たることとする。
- ・WRガイドラインにあるFRFUの新型コロナウイルス感染症(COVID-19)マネージャーは、JRFU、KRFUと調整しながら「メディカル委員会」「安全対策委員会」において対応する。

### 【再開の Protokol】

- ①現在は個人でのトレーニングが行われていると思います。
- ②トレーニングの再開に先立ち、各チームにおいて、選手、コーチ、関係者はWRの定める「COVID-19」のE-learningを全員受講すること。(中学生以下の選手等は任意)  
○「COVID-19」のE-learningのURL <https://playerwelfare.worldrugby.org/?p=1600>
- ③各チームにおける代表者等は、E-learning受講後、受講証明書を福岡県協会へ提出のこと。  
(提出は各チーム代表者等1名分で結構です。)  
なお、受講証明書の提出が無く、チーム練習等で感染者・クラスター等が発生した場合、当協会の登録は抹消等の対応をさせていただく場合もあるので十分気を付けること。
- ④5月14日の緊急事態宣言解除に伴い、県立高校は5月18日以降、準備が整った学校から、分散登校を開始し、6月1日以降、全面的な開校に移行されました。小中学校も順次分散登校から全面開校が行われています。
- ⑤学校が再開された後も、基本授業が成立、体育の授業の成立ができた後に部活動の開始となることが予測される。  
クラブ、社会人、大学・高専、ラグビースクール等においても、同様で所在する地域の情報に応じて、チームの活動を開始されたい。国県の情報のほか、地域の情報にもこまめに気を付け、情報収集には十分に配慮すること。
- ⑥WRのガイドラインに従い、「トレーニング」「トレーニングマッチ」「大会等」に分けて、PST措置の緩和に応じて、順次再開させていくこととする。  
再開の順序  
1. トレーニング

2. 国内大会
3. 国境をまたぐ大会
4. 大陸をまたぐ大会
5. 通常の大会

⑦なお、トレーニング再開に当たり、**新型コロナウイルス感染症**だけでなく、今後夏季になることから**熱中症の対策**にも充分配慮すること。

#### ⑧トレーニングの再開手順

1. 個人でのトレーニング
2. 少人数のグループでのトレーニング
3. コンタクトを伴わないスコッド全体トレーニング
4. フルコンタクトトレーニング

#### ⑨個人トレーニング開始に当たって

個人でのトレーニングも、4週間以上トレーニングが無くなってからの経過時間が過ぎた場合は負傷のリスクが高くなっているため、トレーニング開始にあたっては、リスク回避に充分配慮したトレーニングから開始すること。

手洗いうがい、検温等体調管理・衛生管理に充分配慮すること。

トレーニング等の再開にあたっては、活動に参加するすべてのメンバー（選手、コーチ、スタッフ、家族）から、可能な範囲、別添の「スクリーニングシート」等を提出させ、チーム内で症状の早期特定に努めること。

活動再開にあたっては、福岡県やチームの所在する市町村の方針に従うことが大前提とする。

トレーニング再開にあたっては、JRFU の「ラグビートレーニング再開のガイドライン（2020年5月31日）」を熟読し、「レベル別活動指針」に従った、トレーニング内容や人数を厳守すること。

「ラグビートレーニング再開のガイドライン」の「2 活動の再開」の「(1)感染状況に応じた地域区分による再開について」で定められる「①特定警戒都道府県」「②感染拡大注意都道府県」「③感染観察都道府県」の区分は、全国的に緊急事態宣言が解除されたことに伴い、明確なる区分は示されておらず、各都道府県の判断により、警戒態勢は敷かれています。しかしながら、現在の福岡県の状況を鑑みると、「②感染拡大注意都道府県」レベルの警戒態勢は必要と考えられる。

福岡県が5月29日付けで発表した「緊急事態宣言の解除後の福岡県の対応/6月1日以降の対応について」を確認し、十分な警戒態勢に努めていただきたい。

#### ⑩集団トレーニング開始に当たって

リスク回避のため以下の留意点に配慮すること。

◇ 当面の間は、「レベル別活動指針」のレベル 5、**コンタクトを伴う、体をぶつけあう接触プレーは禁止**

- ◇ 体調チェック(検温、せき等感染チェック)
- ◇ 人と人の2メートルの距離確保(1人当たり4㎡のスペースを確保すること)
- ◇ 挨拶・握手・抱擁等体に触れることの回避
- ◇ マスクの着用(トレーニング中は選手の判断とする)
- ◇ 可能な限り10名以下のグループとする、時間をずらす
- ◇ 打ち合わせ等はデジタルで行う
- ◇ 消毒、手洗い
- ◇ 個人の使用物を明確に区分(使いまわし・共有厳禁)
- ◇ 共有のサプリメントは使用しない
- ◇ トレーニングのステップアップは、安全面を最優先すること

#### ⑪チーム内トレーニングマッチの開始にあたって

JRFU の定める「ラグビートレーニング再開のガイドライン」により、「レベル別活動指針」のレベル 5、コンタクトプレーを伴う活動は、当面の間禁止とされていることから、チーム内のトレーニングマッチについては、当面の間禁止とする。

レベル 5 の活動開始については、JRFU の通知通達により検討し、通知する。

現時点ではレベル 5 の活動は禁止されているが、JRFU のガイドラインに従い、レベル 5 の活動開催に向けて、段階的にリコンディショニングしていくこと。

#### ⑫対外試合、交歓会等の開始にあたって

対外試合、交歓会等の開始については、JRFU の「日本協会主催大会再開プログラム」並びに WR のガイダンスの「競技試合に向けた準備」「試合のための移動」に従って再開すること。

ただし、福岡県の新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、6月中の対外試合、交歓会等は禁止とする。

また、7月、8月は従前より JRFU の定めで、大会禁止期間であることを認識すること。

なお、「レベル別活動指針」のレベル 5、コンタクトプレーを伴う活動が再開され、スポーツ庁、日本スポーツ協会並びに JRFU からの通知・通達等があれば、福岡県内の新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、別途通知する

#### ⑬大会等の開始にあたって

大会等公式戦の再開は、JRFU より 8 月までの高校生以下の全国大会は中止されていることから、JRFU、KRFU の判断に従い全てのカテゴリーの大会等は開催の検討を行っていく。

ただし、福岡県の新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、現段階、8 月までは、大会等公式戦は禁止とする。(7・8 月は基本試合禁止期間)

協会関係者・大会関係者は、大会等の開始にあたって、WR のガイダンスの「運営スタッフのための情報:活動再開の管理方法」、並びに JRFU の「日本協会主催大会再開プログラム」を熟読し、関係機関と確認並びに消毒薬等の配備、感染者発生時の対応等の準備を整えた後に実施すること。

#### ⑭ラグビー再開にあたっての留意点

現在、新型コロナウイルス感染症の蔓延は県内でも一部を除き、小康状態を呈しているが、その抜本的対策であるワクチンはまだ完成しておらず、いつどこで再発してもおかしくない状態にある。

他競技や、隣県では、既にラグビーが再開され、選手をはじめチーム関係者の皆さんは、焦りや不安が錯綜しているところと思われる。

しかし、一旦新型コロナウイルス感染症が発生してしまえば、その患者の家族、周辺の知人、友人、並びに所属する学校や職場、更には地域への影響は多大であり、感染された本人は、病気との戦いのほかに、周辺の方々への後ろめたさや罪悪感に苛まれることとなるほか、心無い誹謗中傷にもさらされる恐れがある。

ラグビーという競技の特性上、濃厚接触は避けて通れないことから、感染のリスクから少しでも回避し、感染から選手を守り、ラグビーを守っていくため、これまで我慢してきた気持ちをもう少しの間延長していただくことを切望する。

JRFU の通達「ラグビー競技の再開にむけて」に記載された 4 点について、ラグビーというスポーツ団体の社会的責務と、ラグビー競技そのものが持つ社会的価値を強く意識し、慎重なる再開を検討していただきたい。